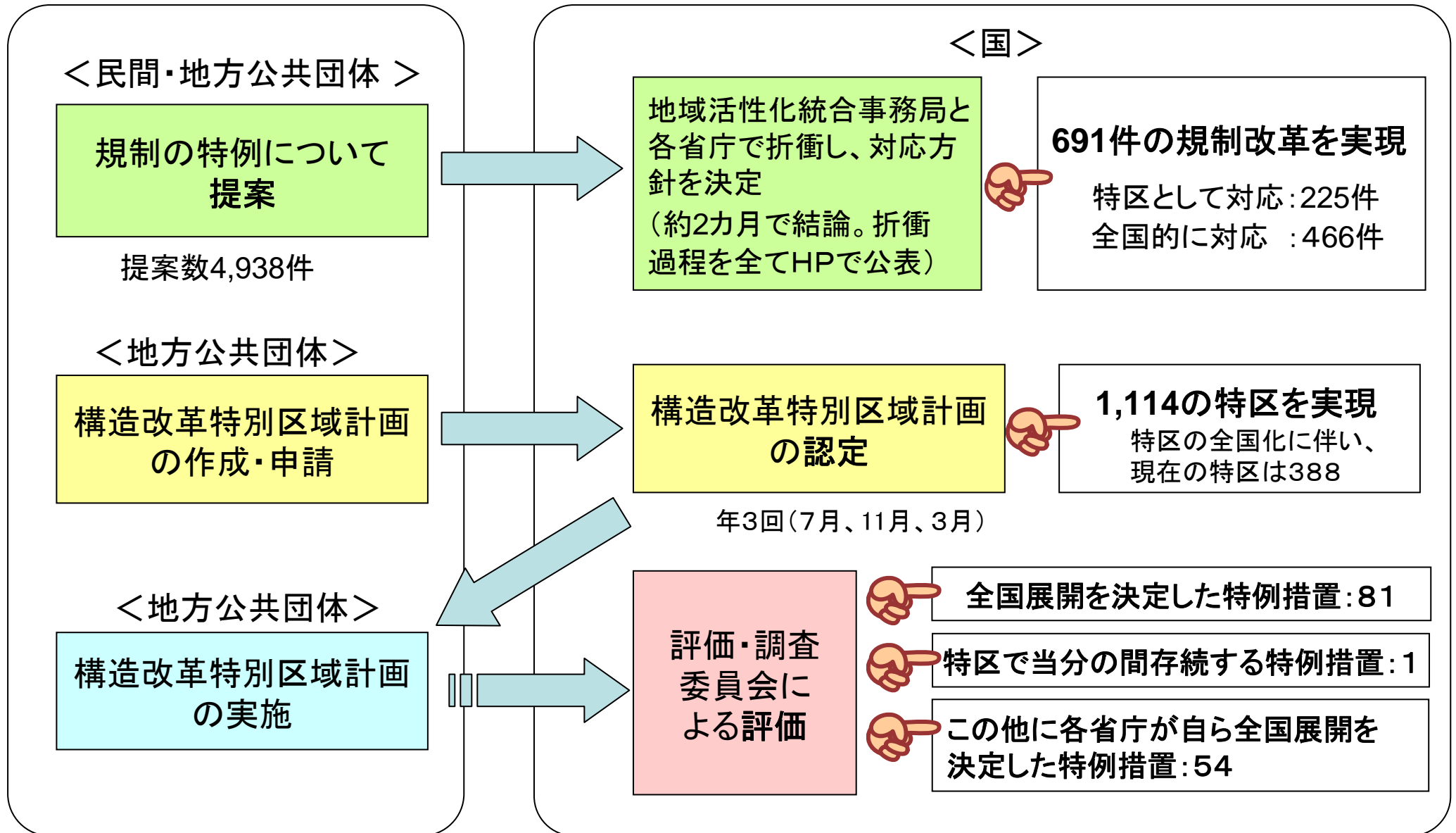


(資料6)

構造改革特区

構造改革特区制度の概要(構造改革特別区域法:H14.12施行)

構造改革を推進し、地域の活性化を図ることを目的として、地域の特性に応じた規制の特例措置を導入する。



特区提案の受付次別の対応状況

※「今後検討」は第8次提案より創設

提案次数 注. 日付は構造改革特別区域推進本部決定日	特 区 で 対 応		全国的 に対応	合 計	今後※ 検討
		特 例 措 置 の 例			
第1次提案 平成14年10月11日	93	・株式会社の農業分野参入 ・学校のカリキュラムの弾力化	111	204	—
第2次提案 平成15年 2月27日	47	・株式会社の学校設置 ・株式会社の病院等の設置 ・どぶろくの製造	77	124	—
第3次提案 平成15年 9月12日	19	・公立保育所の給食の外部搬入	29	48	—
第4次提案 平成16年 2月20日	17	・NPO等による福祉有償運送における使用車両の拡大 ・漁港施設の民間貸付	33	50	—
第5次提案 平成16年 9月10日	12	・刑務所内における一部事務の民間委託	35	47	—
第6次提案 平成17年 2月 9日	6	・公設民営学校の設置に関する特例	27	33	—
第7次提案 平成17年10月11日	8	・周辺環境に配慮した道路標識設置	9	17	—
有識者会議意見 平成17年10月21日	2	・地方公共団体の助成等の措置に基づく「企業内転勤」に関する在留資格の要件緩和	7	9	—
第8次提案 平成18年 2月15日	2	・小規模多機能型居宅介護事業所における障害児（者）の受入れ	13	15	14
第9次提案等 平成18年 9月15日 (有識者会議意見を含む)	4	・事務処理特例条例に基づく事務移譲における国との協議等の都道府県經由手続の廃止 ・学校施設の管理及び整備に関する教育委員会の事務の首長への移譲	25	29	24
第10次提案 平成19年 2月28日	1	・仮ナンバー取付要件の緩和の対象拡大	4	5	3
第11次提案 平成19年10月 9日	1	・119番通報時における緊急度・重症度識別（トリアージ）による救急隊編成の弾力化	21	22	18
第12次提案 平成20年 3月 7日	2	・農家民宿等における酒類の製造免許要件の特例 ・地域の特産物を原料とした酒類に係る酒類の製造免許要件の特例	18	20	6
第13次提案 平成20年10月23日	1	・社会教育に関する権限の移譲	10	11	5
第14次提案 平成21年 2月27日	0		7	7	3

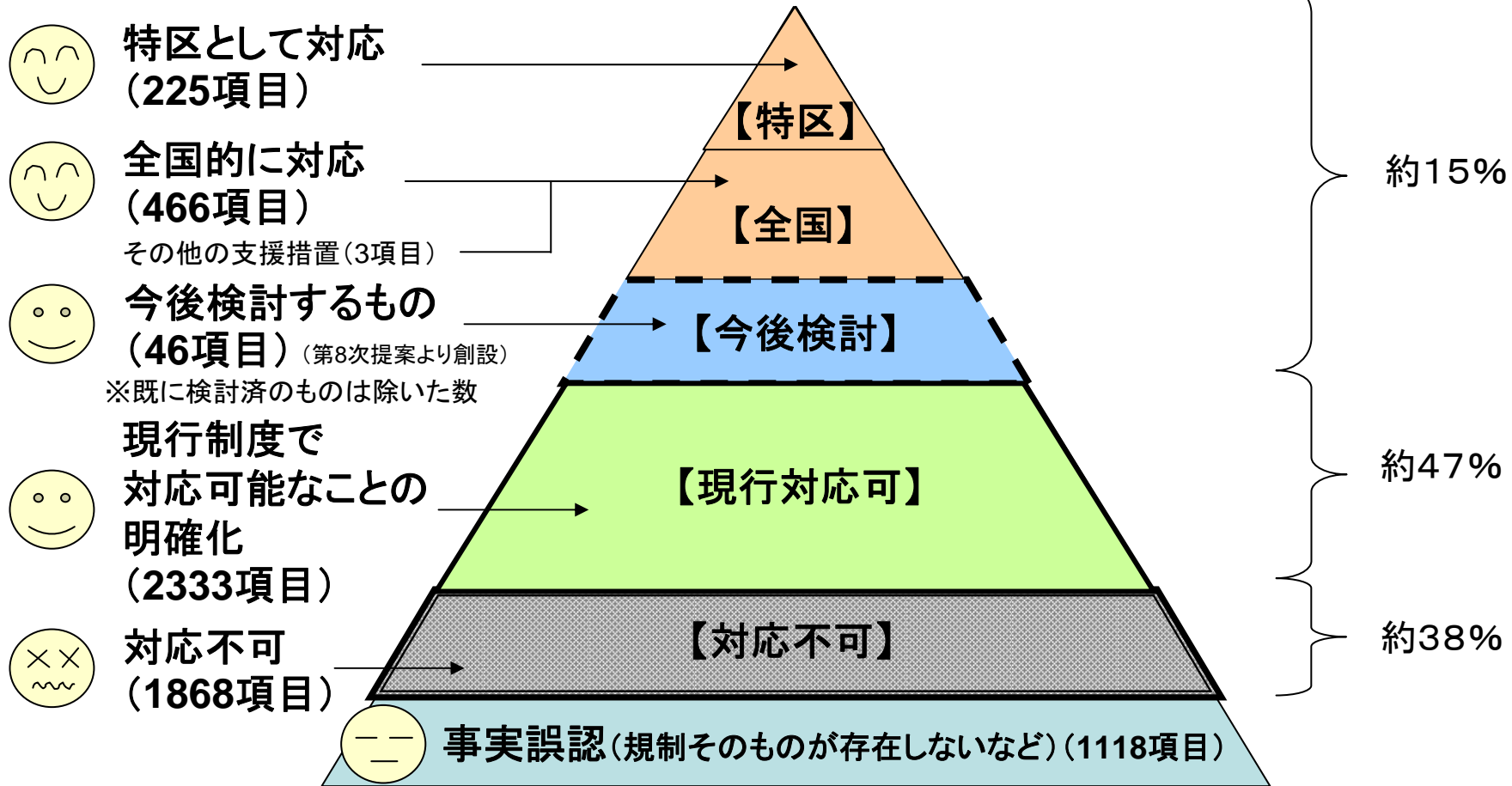
特区提案の受付次別の対応状況

※「今後検討」は第8次提案より創設

提案次数 注. 日付は構造改革特別区域推進本部決定日	特 区 で 対 応		全国的 に対応	合 計	今後 検討 ※
		特 例 措 置 の 例			
第15次提案 平成21年11月12日	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「どぶろく特区」の濁酒製造における原料規定の緩和 ・町家の空家を活用して旅館業を営む場合の玄関帳場要件緩和 ・重量物輸送効率化事業の拡充 	9	12	3
過去未実現提案等の再検討 平成22年 1月29日	3	<ul style="list-style-type: none"> ・搭乗型移動支援ロボットの公道実証実験 ・主要農作物種子審査の民間開放 ・野ヤギの狩猟鳥獣への追加 	11	14	19
第16次提案 平成22年 3月25日	0		5	5	9
臨時（第17次）提案 平成22年 6月 2日	4	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業に配置が義務づけられているサービス管理責任者の資格要件の緩和 ・自動車運搬用フルトレーラ連結長の規制緩和 	15	19	15
合 計	225		466	691	119

特区提案の措置状況

総計4938項目
(事実誤認除く)



特区計画の認定状況

	認定件数	変更件数	主な認定事例
特区第1回 (平成15年4月認定) (平成15年5月認定)	117 (57) (60)	-	○太田外国語教育特区【群馬県太田市】 ○小豆島・内海町オリーブ振興特区【香川県内海町】 ○北九州市国際物流特区【福岡県北九州市】
特区第2回 (平成15年8月認定)	47	1	○小中一貫特区【東京都品川区】 ○市民利用型農園促進特区【神奈川県横浜市】
特区第3回 (平成15年10月認定) (平成15年11月認定)	72 (3) (69)	22	○日本のふるさと再生特区【岩手県遠野市】 ○松山市観て歩いて暮らせるまちづくり交通特区【愛媛県松山市】 ○北海道東川町幼保一元化特区【北海道東川町】
特区第4回 (平成16年3月認定)	88	7	○尼崎計算教育特区【兵庫県尼崎市】
特区第5回 (平成16年6月認定)	70	10 (全国化8件)	○秋田スギ利活用推進福祉特区【秋田県】
特区第6回 (平成16年12月認定)	90	10 (取消1件)	○下関地区水産業活性化特区【山口県、下関市】
特区第7回 (平成17年3月認定)	74	9	○風を感じる北のまちづくり・札幌カーシェアリング特区【北海道札幌市】 ○久留米カブトムシ特区【福岡県久留米市】 ○大阪元気コミュニティ創造特区【大阪府、吹田市、寝屋川市】
特区第8回 (平成17年7月認定)	51	10 (全国化52件)	○かながわバイオ医療産業特区【神奈川県】
特区第9回 (平成17年11月認定)	100	5 (全国化150件)	○美祢社会復帰促進センターPFI特区【山口県、美祢市】
特区第10回 (平成18年3月認定)	138	15 (全国化5件) (取消1件)	○周辺環境に調和した道路標識金沢特区【石川県金沢市】 ○木更津港湾物流効率化特区【千葉県、木更津市】
特区第11回 (平成18年7月認定)	31	1 (全国化87件) (取消1件)	○大分臨海コンビナート活性化特区【大分県】 ○富山型福祉サービス推進特区【富山県、富山市、高岡市、立山町】
特区第12回 (平成18年11月認定)	32	7 (全国化1件)	○高知県産材利活用推進福祉特区【高知県】 ○五島市奈留地区小中高一貫教育特区【長崎県五島市】
特区第13回 (平成19年3月認定)	33	5 (全国化232件) (取消2件)	○喜連川社会復帰促進センター等PFI特区【栃木県、大田原市、さくら市】 ○手話と書記日本語によるバイリンガルろう教育特区【東京都】
特区第14回 (平成19年7月認定)	20	2 (全国化23件)	○地方競馬ミニ場外特区【愛知県競馬組合】
特区第15回 (平成19年11月認定)	21	1 (取消1件)	○港湾物流特区【岩手県釜石市】

特区計画の認定状況

	認定件数	変更件数	主な認定事例
特区第16回 (平成20年3月認定)	16	1 (全国化3件)	○よこはま救急改革特区【神奈川県横浜市】
特区第17回 (平成20年7月認定)	41	3 (全国化144件) (取消1件)	○明和町の特産物で作る果実酒特区【群馬県明和町】 ○ふるさとはまだ果実酒・ふるさと弥栄どぶろく特区【島根県浜田市】 ○自然豊かな梅の里吉野川市美郷・梅酒特区【徳島県吉野川市】 ○ツーリズムのまち宇佐・ハウスワイン特区【大分県宇佐市】
特区第18回 (平成20年11月認定)	19	0 (取消2件)	○純国産・安全健やか 津和野冬虫夏草酒特区【島根県津和野町】 ○とうみSunライズワイン・リキュール特区【長野県東御市】
特区第19回 (平成21年3月認定)	17	2	○医師臨床研修推進特区【北海道留萌市】 ○天草宝島ワイン・リキュール特区【熊本県天草市】
特区第20回 (平成21年7月認定)	5	0 (全国化6件) (取消1件)	○熊野市どぶろく・果実酒特区【三重県熊野市】
特区第21回 (平成21年11月認定)	6	2 (取消2件)	○遠野市民センター 学びのプラットホーム特区【岩手県遠野市】
特区第22回 (平成22年3月認定)	16	1 (取消1件)	○平泉町どぶろく特区【岩手県平泉町】
特区第23回 (平成22年6月認定)	10	0 (全国化1件) (取消1件)	○城下町いずし“うなぎの寝床”町家特区【兵庫県豊岡市】
合計	1,114		※特区の全国展開等に伴い、現在の認定件数は388件

特区の特例措置の評価について

基本理念

特区で実施されている特例措置で、
評価において特段の問題が生じていないと判断されたもの

特区で実施されている特例措置で、
評価において地域の活性化としての意義が大きいと判断されたもの



過去の評価実績

(評価・調査委員会の意見を踏まえ構造改革特区本部で対応方針を決定)

○全国展開 : 81 特例措置

主な事例)

- ・土地開発公社の所有する造成地の賃貸 (平成16年12月に実施済)
- ・農地リース方式による株式会社等の農業参入 (平成17年9月に実施済)
- ・中心市街地活性化のための大型店出店の手続簡素化 (平成18年8月に実施済)
- ・教育課程の弾力化 (平成20年4月に実施済)
- ・有害鳥獣捕獲における狩猟免許を有しない従事者容認事業 (平成22年度末を目途に措置)

○特区で当分の間存続 : 1 特例措置

- ・特定農業者による濁酒の製造事業 (どぶろく特区)

※この他、規制所管省庁が自ら全国展開を行うことを決めたもの : 54 特例措置

未実現の提案に係る調査審議について

概要

未実現の提案のうち、経済的及び社会的に意義があり、新たに地域の特性に応じた規制の特例措置を講ずることができる可能性があるもの

本部長の諮問

実現に向け、評価・調査委員会で提案者や規制所管省庁からのヒアリング等、調査審議を実施

過去の調査審議実績

(評価・調査委員会の意見を踏まえ構造改革特区推進本部で対応方針を決定)

○平成19年度～平成21年度

第7次提案から第14次提案において未実現であった約1,400件の提案のうち、14件について調査審議を実施

※第1次提案から第6次提案分については、「構造改革特区に関する有識者会議」にて17年度及び18年度に審議

〈特区で対応された事例〉

・「どぶろく特区」の濁酒製造における原料規定の緩和(第7次、第8次、第11次提案)

「どぶろく特区」の濁酒製造に関し、地域の活性化に資する観点から、副原料をあわ、とうもろこし等の品目に限定することなく、雑穀全般として認める。

・町家の空家を活用して旅館業を営む場合の玄関帳場要件緩和(第14次、第15次提案)

町家における宿泊により交流の活性化が特に見込まれる地域において、不健全な営業形態の排除、宿泊者の安全の確保等の観点からの要件を満たすことを条件に、玄関帳場等の構造設備基準を緩和する。